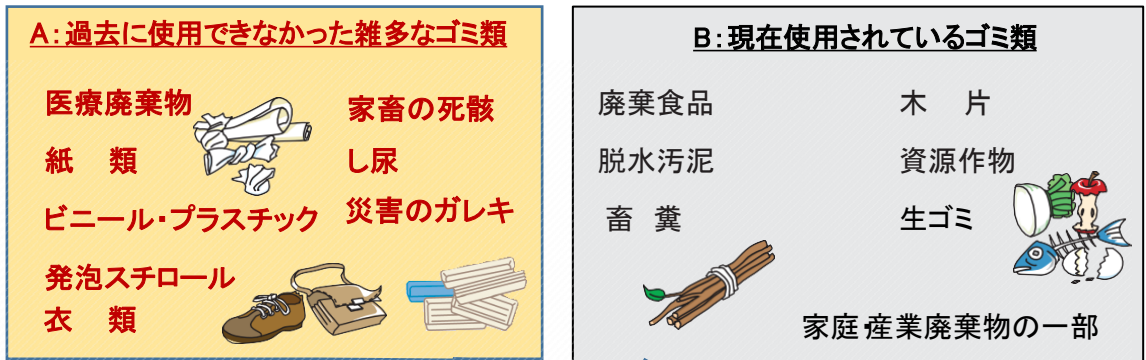


# N-Kap概要

## N-Kapシステムのイメージ



- 過去に使用できなかった
- ①雑多なゴミ類も処理しながら
  - ②メタンガス発生能力に優れている発酵槽投入物を製造し
  - ③低コストでメタンガスを製造して発電して
  - ④売電し
  - ⑤最終残渣として残る消化液類を消滅処理する

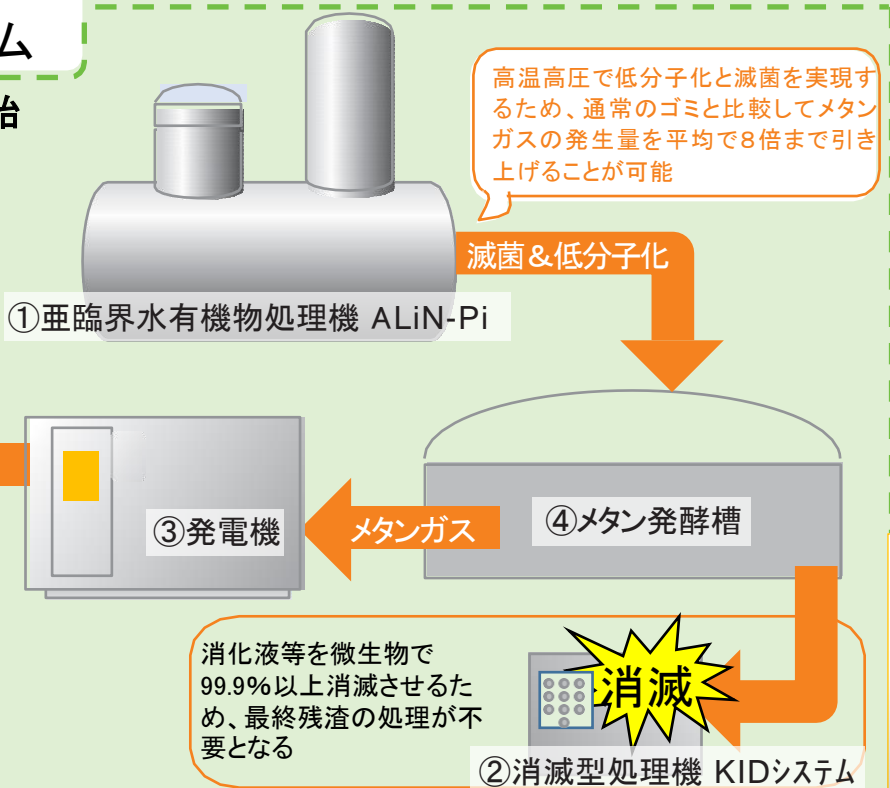
## N-Kapシステム レンタルを開始

**Alin-Pi**

- ◆処理時間は1バッチ約1時間
- ◆タンクは最大12m<sup>3</sup>
- ◆燃料は重油 約200L/1バッチと低額(ガスや電気の代用も可能)

**N-Kap**

- ◆環境を改善しながらの発電システムであり、ソーラー発電や風力発電とは立ち位置が違う優れたもの
- ◆他社を圧倒するオンリーワンシステム
- ◆抜群の費用対効果



①ALin-Piと  
②KIDシステムは、それぞれ単独での使用でも他を圧倒するオンリーワンシステムである

**KIDシステム**

- ◆国際連合工業開発機構でも紹介されている
- ◆築地市場や豊洲市場でも活躍

### ◆弊社システム

### ◆他のシステム

- |  |   |
|--|---|
| ①図のAに記載しているビニール・医療廃棄物・し尿 災害ガレキ・プラスチック類などもメタンガス製造に使用できる                                   | ①図のAに記載しているビニール・医療廃棄物・し尿 災害ガレキ・プラスチック類などの処理は不可能             |
| ②ゴミを高温高压処理した場合、ガスの発生量は通常のゴミから発生するガスの量と比較した場合、平均8倍の1200Nm <sup>3</sup> のガスが発生する(大阪府立大データ) | ②通常処理なので、1トンのゴミから日量平均150 Nm <sup>3</sup> のガスが発生する           |
| ③日量60トンのゴミを処理して発電し、売電して最終残渣を消滅させるまでのシステムのイニシャルコストは約35億円                                  | ③日量60トンのゴミを焼却する処理場のイニシャルコストは約90億円                           |
| ④売電単価は39円/1Kw  | ④売電単価は39円/1Kw   |
| ⑤発生する消化液類を微生物で消滅させる  | ⑤発生する消化液類は自然界に流すために無害処理する必要がある(焼却した場合は灰が残るので最終処分場へ埋める必要がある) |

※売電収入とゴミ処理収入に優れている 年間約12.8億円の収入見込み(日量60トンの場合) ※売電収入で劣る 焼却の場合有害排気ガス排出  
 ダイオキシンゼロ 二酸化炭素の削減